

RKM 会報

Vol.23

2025年2月発行

編集・発行：RKM 幹事会事務局：桑水流正邦（くわするまさくに） 〒132-0035 東京都江戸川区平井 4-26-9 渡瀬方
メールアドレス：rkm634@rkm634.jp
ホームページ <https://rkm634-jp.sakura.ne.jp/>

令和6年度総会報告（2024年7月6日土曜開催）

コロナ禍が収まり、前回令和元年6月6日以来の総会を日本教育会館・喜山倶楽部にて16時15分～18時に開催しました。

残念ながら最近の卒業生および山崎正晴先生、木本健一コーチの参加はありませんでしたが、最終的に31期から78期までの39名が集いました。

会長挨拶のあと、幹事会からの会計報告および新幹事体制も承認されました。

なお、開会前には、直近に行われたインターハイ予選（対都立西）のビデオを会場内で投影しました。

二つ目は、この5年間に新会員となられた方は、94期（2020年3月卒）から97期（2023年3月卒）までの23人です。この会にご招待したのですが、残念ながら勉強等で忙しく、出席いただけませんでした。なお、2024年3月卒の98期は部員が一人もいませんでした。（注：コロナ禍真っ只中で、やむなく高一の時に全員退部）

この後、幹事会からの活動報告や、皆さんの挨拶を頂きますが、久しぶりの集まりですので「黙って聞け」とは申しません。それぞれの交流も大切ですので、半分半分聞きながら、ぜひ楽しんで下さい。

会長挨拶 36期 久我 昭雄

皆さん、久しぶりのRKM総会を開催します。



開会に先立ちご報告しますが、この5年（2019年6月以降）の間に亡くなられた仲間の方々が22名おられます。この方々のご冥福をお祈りして、全員で黙とうをささげたいと思います。（黙とう）ありがとうございます。（注：物故者氏名は

同封資料に掲載してあります）

コロナ禍の影響で、5年ぶりの総会となりましたが、40名近い方が出席され、久しぶりにお会いできて嬉しい限りです。以前のように世代を超えて皆の心がまた一つになることを期待して、会を始めたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

本日私からお話したいのは二つです。

一つ目は、本日は参加されていませんが、37期福永隆夫さんからRKMに多額のご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。どう活かしていくかよく検討し、後刻報告させていただきます。

幹事会報告

今日は皆さまの歓談の時間をたくさんとりたくと思っていますので、受付にて配布した資料について簡単に説明させていただきます。

2023年度会計報告ですが、会費収入705千円に対し支出719千円と定常的な収支は若干の赤字で収まりました。これまでの蓄え（繰越金）と多額の寄付のおかげで、財政としては安定しています。しかし、寄付に甘えることなく、定常的な活動は会費収入でまかない、繰越金は特別なイベント（代々木イベントや現役追加支援）に活用したいと考えています。中学コーチ支援として月1万円を支出していますが、決して十分な額では無いので、会費納入率の向上に努め、コーチ支援を充実させたいと考えています。なお、現役支援金20万円の贈呈はコロナ禍中も継続的に実施しました。

2024年度予算案は従来と大きな違いはありませんが、2027年度に迎えるRKM設立100周年に向けての具体的な企画の検討を深めていきます。

また、幹事体制ですが、2023年11月発行の会報で



お知らせした61期の朝川剛さん、高橋万紀夫さん、中嶋寿康さんの3名に加えて、2024年春より、58期松本浩一郎さんにも幹事をお願いしました。(注：さらに、総会に出席されていた78期松本薫さんを、総会後の幹事会で幹事に迎えました)

これからも、中堅・若手人材に活躍してもらうために、今後の幹事体制を検討中です。

配布資料には会員の皆さんから頂いた近況も掲載してありますので、是非御一読ください。

懇親会

本総会で最長老となる31期東恭平さんから乾杯の挨拶をいただきました。春のゴルフ会の際は少し体調を崩されて欠席されましたが、元気なお姿を見せて頂き、「皆さんのご健勝、さらにはRKMバスケットボール部の発展を祈念して乾杯!」とのご発声を頂きました。



挨拶 学園長 36期 池田 康夫

今日はRKMの全盛時代を支えられた諸先輩方と久しぶりにお会いできて大変うれしいです。RKMの一員ですが、学園のことを少し紹介させていただきます。

5年前の2019年春に県立浦和高校の校長経験のある50期杉山剛士さんを校長に迎え、今は2期目をお願いしています。杉山校長のおかげで、入学者の偏差値が上がってきており、これからは楽しみです。もちろん進学実績だけで学校の価値を判断しているわけではありません。武蔵には昔の良さが今も残っており、特徴ある学校として、とてもいい学校と感じています。

ただ、バスケットボール部の成績がよくないのが残念です。武蔵の体育科の教諭には昔から東京教育大学(現筑波大学)の出身者が多く、サッカー部の顧問・コーチには筑波でサッカーをやっていた先生がおり、いいチーム



作りをしています。RKMのOBの皆様にも、現役の強化にご協力いただければありがたいです。

なお、桑水流幹事長は、同窓会全体の幹事長もやりながら、RKMも盛り立てようと頑張っていますので、支援よろしくお祈りします。

べの言葉 32期 佐室 瑞穂

久しぶりに会う人が多く、話に熱中していたので、司会の言葉が耳に入らず失礼しました。5年ぶりの会となり、二番目の長老となつてしまいましたが、年代の近い後輩が多くいて、その元気な顔を見ることが出来て楽しかったです。

今朝がた34期丸瀬宣雄さんから電話があり、



『今日行くのをやめようかな』と言うので、先日テレビで『欽ちゃんの仮装大賞』を見てたら最後に34期神戸文彦さんの名前が出ていて、まだ元気なんだと思ったことを思い出し、『神戸が来るからお前も出ろ』と言ったので、今日二人とも参加してくれたのでほっとしました。今日は本当に良かった、まだお話できていない若い人がたくさんいるのですが、時間が足りないぐらい楽しい会をありがとうございました。幹事の皆さんご苦労様でした。

最後に集合写真を撮ってお開きとなりました。

ここでは紹介しきれませんが、あちらこちらで年代を超えたグループができ、活発な会話が進んでいました。

生憎、帰宅の途に就く頃、短時間でしたが、激しい雷雨となり、近くのお店で二次会を行うグループもあったようですが、皆さん無事に帰宅されました。



2024年度RKM総会 2024年7月6日 日本教育会館喜山倶楽部

現役チームをサポートするため、年会費の納入や寄付金（特別支援）にぜひご協力をお願いします！

RKMは、OB交流のための各種企画・会報誌の作成・発送・名簿管理、並びに現役選手たちへの支援を行っております（武蔵高等学校バスケットボール部OB会会則 第2条）。

特に、現役支援については、これまでも皆さまの温かいご厚意により、主に下記のような支援を積み重ねてまいりました。今後も少しでも多くの支援により、現役をサポートしてまいりたいと考えております。

イベントや応援にお越しいただいた際に直接寄付金をお渡しくださる方もいらっしゃいますが、OB会費として、年会費の形でご支援いただければ幸いです。

OB会は会費に込められた皆さんの心、気持ちをまと

める機関でなくてはいけないと思っております。「運動部の先輩」としてお金を通じて「心」を届けたいと考えるものです。RKMも2027年に100周年を迎えます。この100期600名に達しようとするOB会員の一人でも多くの方々に現役活動の一助となるべくご支援を、加えて卒業後一度も納入されていない方々に改めてRKM活動へのご理解とご支援を改めてお願いする次第です。

今年度も一人でも多くのOBの皆さんに活動に参加いただけるよう、OB同志が気軽に集い、バスケットボール以外の情報交換等もできるOB会にしてゆくべく、幹事一同微力ながら力を合せて頑張る所存です。OB会活動へのご理解・ご協力も改めてお願いいたします。

《これまでの支援実績》

○継続的支援（毎年行っているもの）

項目	金額（千円）	時期	支援先	備考
現役支援金	200	2007年から継続中	総会山崎先生あて目録贈呈	年次決算剰余金より抛出
中学コーチ謝礼（1名当たり）	120	2022年から継続中	中学コーチあて直接支援	年次予算に計上

○臨時支援（寄付）

項目	金額（千円）	時期	寄付先	備考
体育館床張り替え工事支援	1,100	2011年	武蔵学園	
体育館空調設置支援	3,179	2019年	武蔵学園	冷暖房
シューティングマシン購入	605	2022年	山崎先生	モルテン社

新幹事紹介（その1）松本 浩一郎（まつもと こういちろう）58期

この度、イベント担当を拝命した、松本浩一郎です。長年にわたり、幹事長としてRKMの活動を支えて来られた47期桑水流さんからの要請により、お手伝いさせて頂くことになりました。

畑先生から「運動神経抜群」と評されてはいたものの、頭を使いフォーメーションを多用するスタイルにはあまり馴染めなかったのですが、高校3年時にキャプテンを務めた時には、一学年下の59期秋場大輔くんが部員が減らないようしっかりとサポートしてくれたり、公立中学のエースだった59期秋山典文くんや池田弘樹くんが入部して来たこともあり、インターハイ東京都予選でベスト8進出をかけて、後に日大、トヨタ自動車でも活躍した選手たちと対戦する機会に恵まれました。

大学、社会人と、よりレベルの高いチームでプレーするにしたがって、相手を観察して弱点を見抜き逆を取ることに目覚め、充実したバスケット生活を送ることができました。コロナ禍で現役生活には終止符を打ちましたが、長くバスケットボールというスポーツを楽しむことができたのは、中学、高校時代に、恩師、同期、先輩、後輩に恵まれたおかげだと感謝しています。

今後は、ゴルフ会など先輩方から受け継いだ行事をしっかりと運営して行くとともに、新入会員歓迎イベントなど、若手OB諸君との対話の機会となる新企画も立ち上げて行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



新幹事紹介 (その2) 松本 薫 (まつもと かおる) 78期

このたび幹事に加わることになりました78期の松本薫です。ちなみに、58期の松本さんと血縁等はありません(笑)。

私は1998年に武蔵中学に入学しているので、既に畑先生は引退されており、お会いしたことがあるのは1回だけです。体育館にいらっしやったときにノーモーションのオーバーヘッドパスを教えてくださいました。

中学1年生時には71期の藤吉純明さん、日暮正毅さん、下坂正倫さんに、2年生時は72期の平石悠樹さん、73期の青木俊介さん、後藤宣吉さんにコーチしていただきました。

高校時代は最初から最後まで山崎正晴先生に指導していただきました。また、私たちの代の時に山崎先生のお子さんの颯良(そら)くんが生まれたと記憶しています。

卒業後は、同期に木本健一先生がいることもあり、長く武蔵バスケットボール部を見てきましたが、2021年から3年間シンガポールに赴任していたため、久々に戻ってきた形となります。現役世代のことにはまだ詳しくないので、公式戦を応援する中で知っていきたいと考えています。

是非、皆さんと一緒に現役の応援にできればと思います。今後ともよろしく願いいたします。



武蔵およびRKMとのつながり 顧問 山崎 正晴 (保健体育科教諭)

2024年9月21日に開催されたホームカミングデイの後、山崎先生および若手幹事数名と今後のRKMについて意見交換を行う機会がありました。その際、先生がどのような経緯で武蔵に奉職されたのかをお聞きしました。そのことを是非会報に掲載したいと思い、お忙しいところ無理を言って書いて頂きました。(桑水流)

私が武蔵に奉職したのは1997年になるでしょうか。その際の縁というのは多岐にわたっていますが、それらの縁で江古田の地におりますので、今でも武蔵卒業生に可愛がってもらったなあ実感しています。

古い話になりますが、私が高3の時に地元で国体があり、当時女子のアドバイザーコーチとして榎本日出夫さん(34期)がいらっしやっていて、直接教わる機会もあり、地元国体を無事終えたことを思い出します。

また、その後順天堂大学に進学し、卒業後男子部および女子部コーチとして活動していた折には、日立との練



習ゲームの際に日立戸塚から日立本社のヘッドコーチに移籍された榎本さんと再会するに至り、「クリクリ坊主が大きくなったなあ」と言っていたことを覚えています。

次の縁は、順天堂大学女子部に埼玉県からの優秀な選手を預かり、その際の指導者の一人が野辺勝さん(43期)であった事。国際審判をされていたので、大学の大会の際にはいろいろな話を伺うことができました。

さらにこの頃、武蔵高中体育科の下崎和彦先生との出会いもあり、海浜学校やスキー教室のお手伝い、また非常勤講師(これは1年限りで遠慮させて貰いましたが)を拝命するなど武蔵との縁を深めることになったのです。

その頃、代々木第二体育館で試合をしているとゴールの真横に椅子が一つ置いてあり白髪のおじいさんが見てもなく時には寝ながら座ってらっしゃる姿を拝見していました。「なぜここに座っているの」と思って見ていた方が畑先生だったのです。野辺さんを介しながら畑先生と話をしているうちに古い出来事が思い出されてきました。それは、「俺は以前畑先生に教わっているぞ」ということでした。その出来事とは高校2年生の1月ごろ京都で全国ブロック強化大会(名称は不確実ですが)というものが開催され中国ブロックの代表に選出されていた私は、特別講演でいらしていた畑先生のバスケット論を聞いていたのです。内容は覚えていませんが(笑)。

そんな方々とお付き合いをしながら大学教員になるべく幾つかの大学で非常勤講師とコーチ業をこなしながら過ごしていたある日、下崎先生よりご連絡があり、「高校の体育教員をとることになった。バスケの先生が欲しい。来てくれないか」というものでした。実はこの頃も畑先生はご存命で私がいって良いものやら思案をしたことを思い

出します。結局「請われてする仕事が男の仕事」と思い奉職し現在に至っております。

最後になりますが、OB 諸兄のご健康と RKM の発展を祈念しております。どうぞ古の地・武蔵の体育館へお越し下さい。お待ちしております。

現役試合情報

★高校 (高二～高三 99 期)

新人戦 第 4 支部大会

2023 年 10 月 29 日@武蔵
武蔵○ 83 - 50 杉並学院
2023 年 11 月 3 日@都小平南
武蔵○ 59 - 54 都小平南
2023 年 11 月 5 日@帝京
武蔵● 76 - 94 都小平西

関東大会予選 (C ブロック)

2024 年 4 月 14 日@武蔵
武蔵○ 73 - 53 都向丘
2024 年 4 月 28 日@都井草
武蔵● 42 - 121 成立学園

インターハイ予選 (B ブロック)

2024 年 5 月 19 日@武蔵
武蔵● 73 - 74 都西

★高校 (高二 100 期)

私学大会

2024 年 9 月 15 日@帝京高校
武蔵○ 62 - 45 自由学園
武蔵● 33 - 72 大東文化一
2024 年 9 月 23 日@立教池袋高校
武蔵○ 57 - 54 本郷

新人戦 第 4 支部大会

2024 年 10 月 20 日@海城
武蔵● 58 - 73 都西

★中学 (中二 103 期)

私学大会

2024 年 9 月 15 日@帝京高校
武蔵中○ 49 - 37 帝京中
2024 年 9 月 23 日@立教池袋高校
武蔵中● 36 - 62 巣鴨中

武蔵中○ - 多摩大附属中

武蔵中● - 明大中野中

武蔵中● - 開成中

武蔵中● - 立教池袋中

練馬区新人戦

2024 年秋
武蔵中● - 大泉西中



関連サイト:

東京都高校体育連盟バスケットボール
男子専門部

<https://tokyo-basketball-hsm.com>

2024 年度ホームカミングデイ 58 期 松本 浩一郎

- ・昨年 4 年ぶりに復活した、ホームカミングデイ (HCD)。今年も 9 月 21 日 (土) 中高体育館にて例年通り以下のメニューで現役と交流しました。
 - 13 時 30 分～ OB 対現役の交流戦
 - 16 時 15 分～ フリースロー大会
 - 16 時 45 分～ 記念撮影
- ・現役諸君の陣容は以下の通り。
 - 集合の号令も聞こえないほどの賑やかさでした。RKM からスポーツドリンク 48 リットルの差入を行いました。最上級生の高 2 は 100 期、ついに 100 期台に突入です!
 - 高校チーム: 2 年 4 名、1 年 10 名、中 3 生 8 名
合計 22 名
 - 中学チーム: 2 年 16 名、1 年 13 名 合計 29 名
- ・コーチ陣は、昨年同様のメンバーです。
 - 高校コーチ: 山崎先生、木本健一くん (78 期、数学

科非常勤講師)

中学コーチ: 吉岡隼哉くん (96 期、上智大学 3 年生)
顧問: 鬼谷 (オニダニ) 先生 (体育科、高知県生、早稲田大学相撲部出身)

- ・参加 OB は以下の通り (敬称略)。

新津さんは今年も審判との 2 足のわらじで汗を流して下さいました。

HCD 常連の 54 期の方々も現役相手に大奮闘! 62 期的小林くんもしっかり得点。78 期以降の若手 OB は素晴らしい動きで、現役に胸を貸していました。

(41) 新津、(54) 今田、松原、山田、(58) 松本、(62) 小林 (78) 松本、(92) 林田、(93) 岡田 (94) 村田、木村 (前中学コーチ) (95) 佐伯、朝霧、高橋、(96) 吉岡 (中学コーチ)、廣橋

- ・プレーには参加しなかったものの、以下の OB も顔を

出してくれました（敬称略）。(41) 落、(61、新幹事)
朝川、高橋、中嶋

桑水流幹事長（47）はHCD全体の仕切り役である
同窓会幹事長でもあるため、午前中から校内各所を奔走
し、全体懇親会の司会もされてました。

・フリースロー大会および今年から設けた各賞の受賞者
は以下の通り。

フリースロー大会：優勝 木下（中3）、準優勝 林田
（92）、3位 堀口（中2）

山崎賞（MVP）：中野（高1）目立たない所での柔
軟性があり気が利くプレーを評価

木本賞（高校生）：古川（高2）長距離3ポイントシ

ュート成功

吉岡賞（中学生）：陶山（中3）夏休みに最もがんば
った

RKM賞（期待）：松岡（中1）最も小柄な中1、身
長もプレーも伸びることを期待！

記念撮影後、同窓会幹事長兼任の桑水流さんが司会
を務めるHCD全体懇親会に立寄り、さらに、山崎先生、
吉岡コーチを交えて（47）桑水流、（58）松本、（61）
朝川、高橋、中嶋、（78）松本の若手幹事にて意見交
換会を開催、今後のRKM全体のイベントについて話し
合いました。



2024年度RKMゴルフ会開催報告 58期 松本 浩一郎

春季大会

2024年5月22日（水）、予報を覆す好天に恵まれた、
埼玉県の嵐山カントリークラブにおいて、32期から58期
までの総勢13名の参加を得て開催。49期吉田正俊さん
が新メンバーとしてデビューされました。

「優勝」は34期丸瀬宣雄さん。前回の秋の大会に続
き、見事連覇を達成されました。「準優勝」は48期福本
淳一さん。ベスグロを獲得するもハンディに恵まれませ
んでした。「3位」は、これまた前回同様、49期鰐淵浩
さん。腰痛が癒え、好ハンディを引き寄せました。「ニ
アピン賞」は34期丸瀬さんと私松本が獲得ということ
になりました。また、36期のジェントルマンたちにエ
スコートされた紅一

点のお茶の水OG岩切さんには、今回も「特別賞」を贈
らせて頂きました。

表彰式は32期佐室瑞穂さんの計らいで、岸信介元首
相も使われたというメインコンパルムで行われ、各々、
久々の歓談に花を咲かせました。

秋季大会

2024年10月23日（水）、春季大会と同じく嵐山カ
ントリークラブで開催。

体調不良によるキャンセル者が続出し、参加者は32
期から58期までの総勢わずか8名と、少々寂しいデー
オフとなりました。

「優勝」は腰痛から見事に復活を果たされた36期鹿子木雅さん。素晴らしい笑顔を見せてくれました。「準優勝」は2023年秋のデビュー以来入賞常連の49期鰐淵さん。わずか一打差でベスグロを逃すも、今回はハンディキャップによるハナの差で準優勝となりました。「3位」は、これまた入賞常連の、34期丸瀬さん。3連覇がかかっており、ベスグロも獲得されましたが、ハンディキャップに恵まれず3位入賞に終わるも、お見事の一言でした。「ニアピン賞」は34期丸瀬さん、49期鰐淵さんの入賞コンビ、BB賞は図らずも私松本でした。

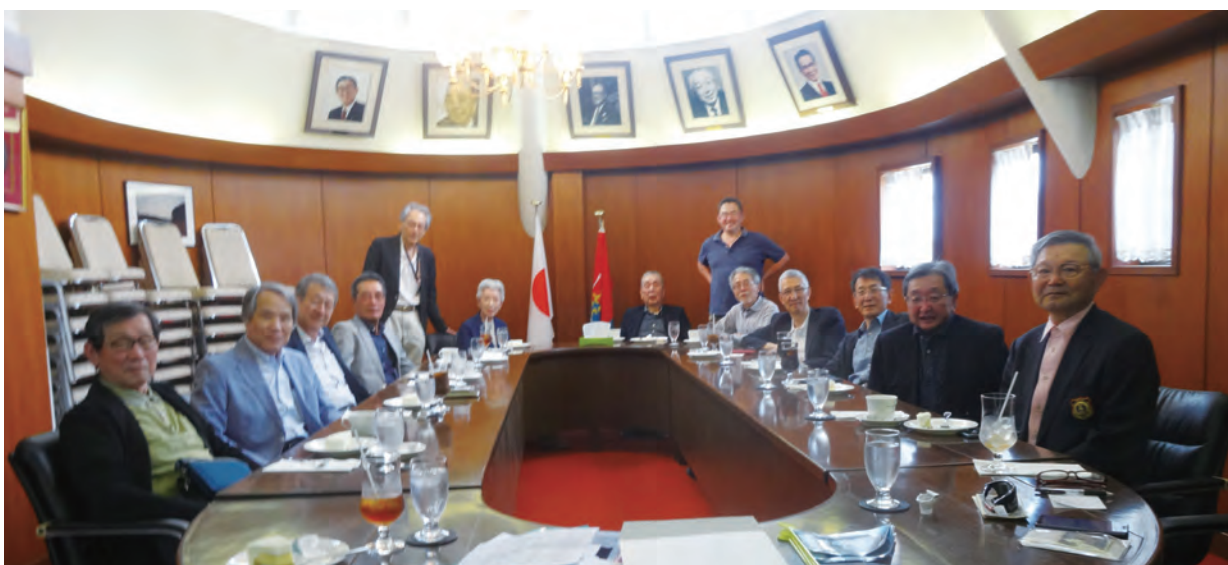
また、腰痛から復帰されたばかりにもかかわらず最後まで

で完走された37期林さん、幹事としての気配りが評価され強く推挙されての47期桑水流さんのお二人に「特別賞」が授与されました。

終了後のパーティーは、アルコール抜き、お茶とケーキでこじんまりと行われましたが、和気あいあいとした雰囲気の中、様々な話題に花が咲いたのでした。

次回の大会は2025年5月28(水)、嵐山カントリークラブで開催予定です。皆様の奮ってのご参加を、幹事一同、心よりお待ちしております。

幹事：58期松本浩一郎、47期桑水流正邦



2024年 春季大会



2024年 秋季大会



春季入賞者



秋季入賞者

【物故者】 2023年11月以降にご連絡を受けた方のご逝去をお知らせします。謹んで哀悼の意を表します。



29期	樋口	雅彦	2023年11月	ご逝去
31期	武藤	徹一郎	2024年2月16日	ご逝去
34期	成瀬	哲夫	2024年6月6日	ご逝去
37期	石井	友彦	2024年12月30日	ご逝去
42期	石山	徹	2024年10月5日	ご逝去